

## 外食市場調査(2013年12月度)

# 2013年12月の東名阪3圏域計の外食市場規模は、 前年同月より59億円増加の4,175億円 外食実施率1.7ポイントアップが主な要因

株式会社リクルートライフスタイル(本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村吉弘)に設置された「食」に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメリサーチセンター」(<http://grc.hotpepper.jp/>)では、東名阪の男女約9000人を対象とする「外食市場調査」を実施しています。この度、2013年12月度の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

### 【今月のポイント】

外食市場規模について東名阪3圏域合計では、前年同月比(以下「前年比」)で市場が59億円拡大したと推計され、エリア別で見ると、東海圏のみ前年比マイナスの結果となった。増加の要因としては、外食実施率の増加が挙げられ、特に60歳代女性が前年比でプラス4.2ポイントの高い伸びであり、3圏域合計では前年比1.7ポイントアップとなった。

### 【3圏域計(首都圏・関西圏・東海圏)】 [3P]

- 2013年12月の外食(※1)実施率は 78.8% (前月比増減 +2.8pt、前年比増減 +1.7pt)
- 2013年12月の外食頻度(※2)は 4.57回/月 (前月比増減 +0.29回、前年比増減 +0.01回)
- 2013年12月の外食単価は 2,715円/回 (前月比増減 +302円、前年比増減 -31円)
- 2013年12月の外食市場規模(※3)は 4,175億円 (前月比増減 +825億円、前年比増減 +59億円)

※1 外食：夕方以降の食事について、お店で食事した場合を対象。消費地の範囲として、各圏域の居住者が各圏域の対象都府県内でおこなった外食を対象としており、圏域外でおこなった外食は含んでいない。また、夕方以降、1日2回までの外食を含む。

※2 外食頻度：外食実施者の1ヶ月あたりの平均外食回数

※3 外食市場規模：各圏域の当該年齢人口(平成22年国勢調査)×外食実施率×外食頻度×外食単価で算出

### 【圏域別】 [3P]

- 外食実施率は、首都圏：79.3% (前年比増減 +1.9pt)、関西圏：78.5% (同 +2.4pt)、東海圏：77.6% (同 ±0.0pt)
- 外食頻度は、首都圏：4.86回/月 (前年比増減 +0.04回)、関西圏：4.42回/月 (同 +0.13回)、東海圏：3.78回/月 (同 -0.30回)
- 外食単価は、首都圏：2,721円 (前年比増減 -50円)、関西圏：2,822円 (同 -6円)、東海圏：2,455円 (同 -22円)
- 外食市場規模は、首都圏：2,527億円 (前年比増減 +36億円)、関西圏：1,177億円 (同 +65億円)、東海圏：471億円 (同 -41億円)

### 【性年代別】(3圏域計) [4-5P]

- 性年代別の外食実施率は、60代/女性(実施率76.7%、前年比増減 +4.2pt)で前年比プラス幅が最も大きかった。一方、前年比でマイナス幅が大きいのは、20代/女性(実施率82.6%、前年比増減 -1.5pt)であった。

### 【主要タウン別】 [6-7P]

- タウン別の市場規模は、【新宿・代々木】(市場規模 168億円、前年比増減 +14億円)などで前年比プラス幅が大きかった。一方、【銀座・有楽町・日比谷】(市場規模 114億円、前年比増減 -19億円)で前年比マイナス幅が大きかった。

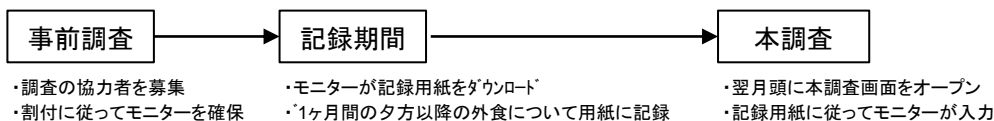
【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/>

# 外食市場調査(2013年12月度) 調査概要

- **調査目的** 首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食市場規模を把握することを目的に実施。  
また、主要タウン別の市場規模や、性年代・居住区域別の外食の実態を明らかにすることも目的とした。
- **調査対象** 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県)、関西圏(大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- **調査方法** インターネットによる調査

● **調査の流れ**



● **割付の設定** 本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、次の250区分で割付をおこなって回収した。

- ・性別2区分 × 年代別5区分 (20代/30代/40代/50代/60代) × 地域25区分 = 250セル
- ・地域25区分の内訳: 首都圏13区分(東京都6区分+神奈川県2区分+千葉県2区分+埼玉県2区分+茨城県の一部)、関西圏8区分(大阪府4区分+兵庫県の一部+京都府の一部+奈良県の一部+滋賀県の一部)、東海圏4区分(愛知県2区分+岐阜県の一部+三重県の一部)

● **集計方法** 本調査結果は、平成22年国勢調査人口に基づいてウェイトバック集計をおこなっている。

● **サンプル数**

事前調査					本調査				
実施期間	配信数	回収数	回収率	本調査対象者数	実施期間	配信数	回収数	回収率	有効回答数
2013年11月22日(金)~ 2013年11月29日(金)	258,943件	40,571件	15.7%	17,481件	2014年1月6日(月)~ 2014年1月13日(月)	12,438件	9,114件	73.3%	9,051件

● **個人単位**

3圏域計	居住圏域			性年代											
	首都圏	関西圏	東海圏	男性/20歳代	男性/30歳代	男性/40歳代	男性/50歳代	男性/60歳代	女性/20歳代	女性/30歳代	女性/40歳代	女性/50歳代	女性/60歳代		
9,051	5,113	2,554	1,385	807	1,057	964	799	925	772	1,022	926	800	978		
100.0	56.5	28.2	15.3	8.9	11.7	10.7	8.8	10.2	8.5	11.3	10.2	8.8	10.8		

上段: 件数(件)、下段: 構成比(%)

● **外食単位**

(圏域内での外食のみ)

3圏域計	消費圏域		
	首都圏	関西圏	東海圏
32,609	19,698	8,846	4,065
100.0	60.4	27.1	12.5

※ウェイトバックによる補正後の件数と構成比

## 本調査における定義・設定等

● **本調査での「外食」は、夕方以降の食事について、お店で食事した場合を対象としている。**

- ・旅行先、出張先のお店や宿泊施設での食事含まれる。飲酒のみ、喫茶のみの場合も含まれる。
- ・夕方以降、複数回外食した場合、1日あたり2回まで(2軒目まで)の外食を含んでいる。
- ・ただし、市場規模算出にあたり、消費地を圏域内に限定して集計している。

● **居住地と消費地の範囲**

- ・調査対象者の居住地の範囲は、首都圏、関西圏、東海圏それぞれ中心部からの鉄道距離で設定した。
- ・市場規模に含まれる消費地の範囲は、各圏域の居住者が各圏域の対象都府県内でおこなった外食を対象としており、圏域外(圏域外の都道府県や海外)でおこなった外食は含んでいない。

対象範囲の種類	首都圏	関西圏	東海圏
① 居住地の範囲	・東京都(一部除外)・神奈川県(一部除外) ・千葉県(県東・県南の一部除外) ・埼玉県(県西の一部除外)・茨城県の一部  ※都心(山手線主要駅)より90分圏+20万人以上の乗降客数の駅に対し30分圏に含まれる市町村	・大阪府全域・兵庫県(県北の一部除外) ・京都府(県北の一部除外) ・奈良県の一部・滋賀県の一部  ※都心(梅田、大阪、天王寺)より80分圏+10万人以上の乗降客数の駅に対し30分圏に含まれる市町村	・愛知県(一部除外) ・岐阜県の一部 ・三重県の一部  ※中心部(名古屋駅)より60分圏に含まれる市町村
② 消費地の範囲	・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県	・大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県	・愛知県・岐阜県・三重県

● **タウンの設定**

- ・各圏域毎に乗降者数の多いコア駅を設定し、コア駅を中心として、東京都山手線内は半径1km、その他の都心部(東京都区部、横浜市・川崎市、大阪市、神戸市、京都市、名古屋)は半径2km、周辺部は半径4kmの範囲に含まれる駅を合わせて、1つのタウンとして設定した。
- ・複数の円が重なる位置にある駅は、より関係性が強いコア駅のタウンに振り分けており、各タウンの範囲は重複しない。
- ・本リリースでは、主要タウンとして、首都圏5タウン、関西圏3タウン、東海圏2タウンを設定し、掲出している。

タウン名称	含まれるコア駅
新宿・代々木	・新宿・西武新宿・代々木
渋谷・原宿・表参道	・渋谷・原宿・明治神宮前・表参道
新橋・浜松町・大門	・新橋・浜松町・大門
銀座・有楽町・日比谷	・銀座・有楽町・日比谷・東銀座
池袋	・池袋

タウン名称	含まれるコア駅
梅田・大阪・北新地	・梅田・阪急梅田・阪神梅田・東梅田・西梅田・大阪・北新地
なんば・大阪難波・日本橋	・なんば・難波・大阪難波・南海なんば・日本橋・近鉄日本橋
本町・心斎橋・淀屋橋	・淀屋橋・本町・心斎橋・四ツ橋・堺筋本町・北浜
名古屋(JR・近鉄・名鉄名古屋)	・JR名古屋・近鉄名古屋・名鉄名古屋
栄・久屋大通	・栄・久屋大通・伏見